

臺灣主第一〇三號ノ四

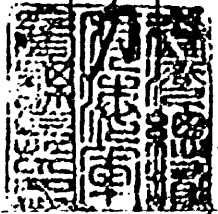
以基隆之沙灣ニ建設アリ之西洋形建造物ハ旧  
政府所ヨリシテ去ルハ本年東京高島に領及他  
軍兵駐司令敷用ニ依リ之を以テ該建物及如  
此共考府事務所所屬ノモノニシテ築港地  
査査方ノ手ニ使用スルニ事ナリ之を以テ及制  
改革ノ結果今島寮トシ自茲當海軍幕  
僚所轄ニ編入スルニ事ナリ今般基隆築港  
地査査方ノ手ニ解カシ於テ該地長官選任  
亦中於之付自今當幕僚付命書トシテ  
為理可及之案子紙建物及地所實測  
圖一呈案取添付ル旨披露仕ス

明治三十四年五月五日

五ノ十六

0076

臺灣總督府海軍參謀長里岡帶

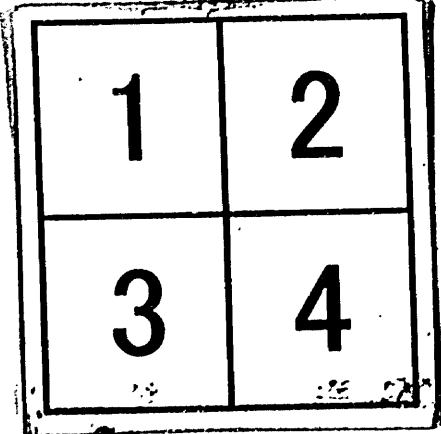


海軍大臣侯爵西郷從道 啟

自予在地所家息、沿岸波戸崎、接之碇泊  
船、船業經營、使中云、所之範圍、之ん以、

0077

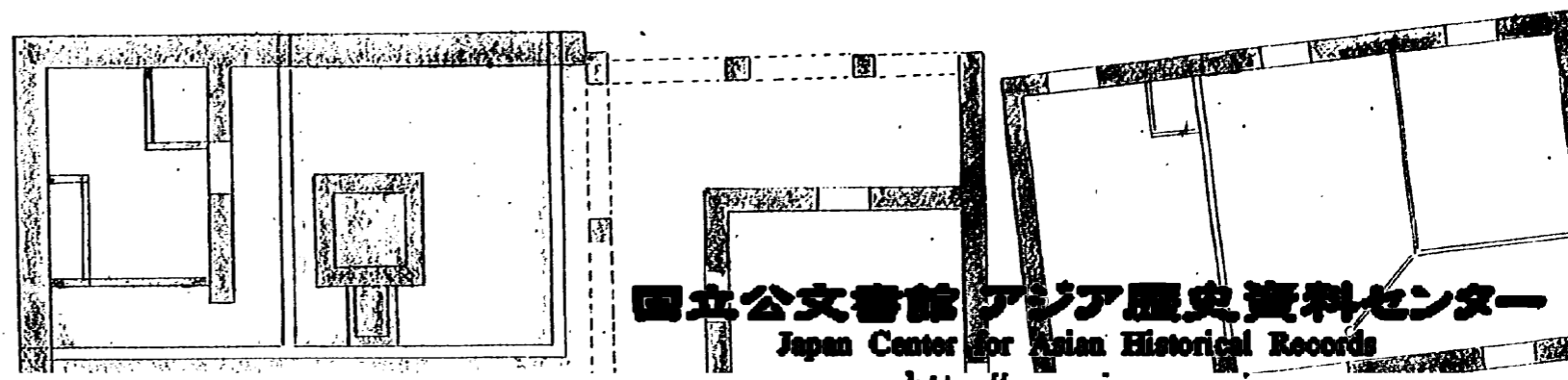
## 分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A 3版以上のため
文書等名	基隆三沙湾西洋形建物.
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

0078  
0079  
0080  
0081

# 物建形

階下

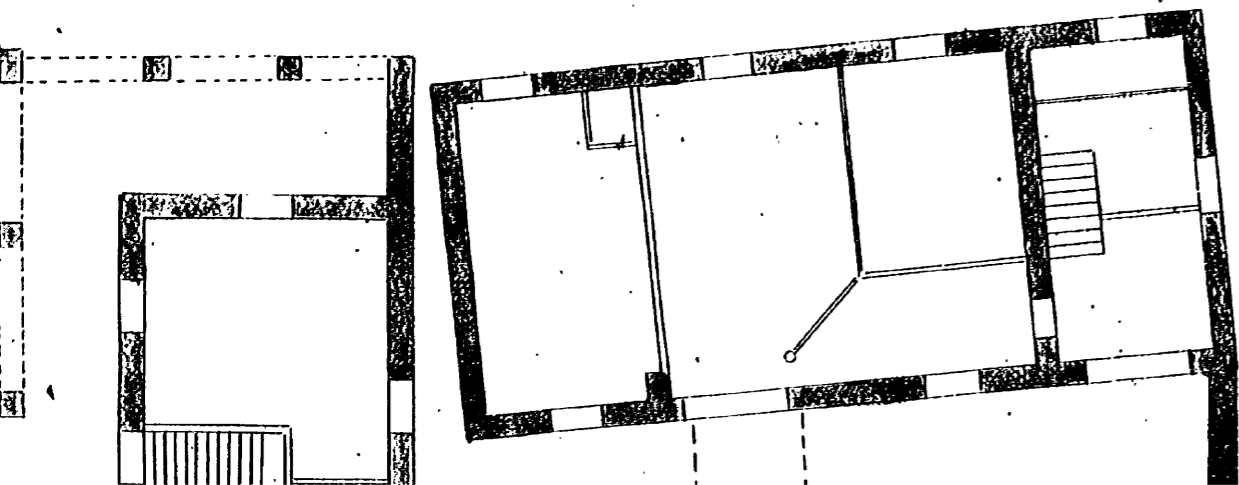


# 基隆三沙灣西洋形建物

明治三十一年四月調査

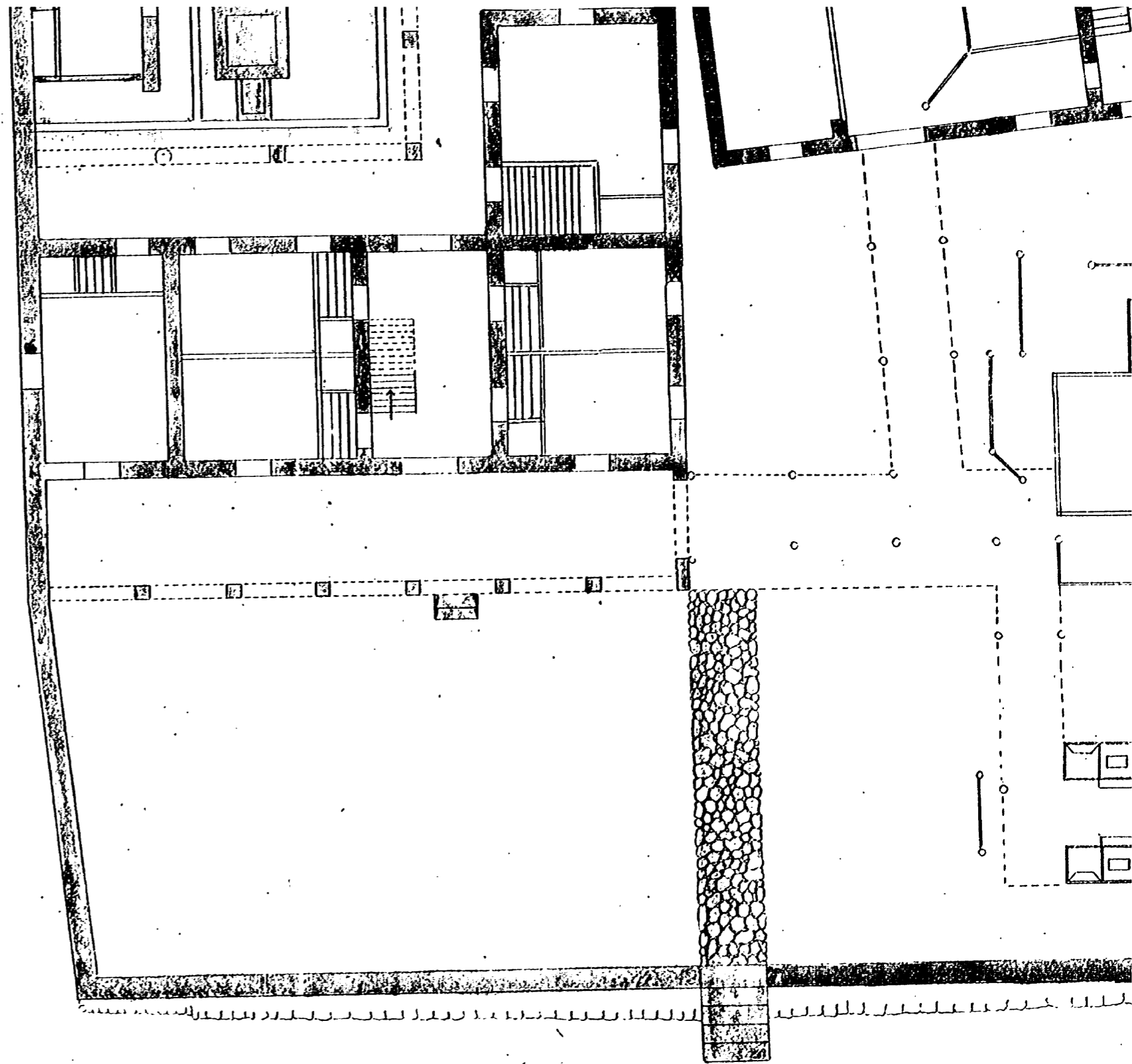
縮尺百貳拾分之一

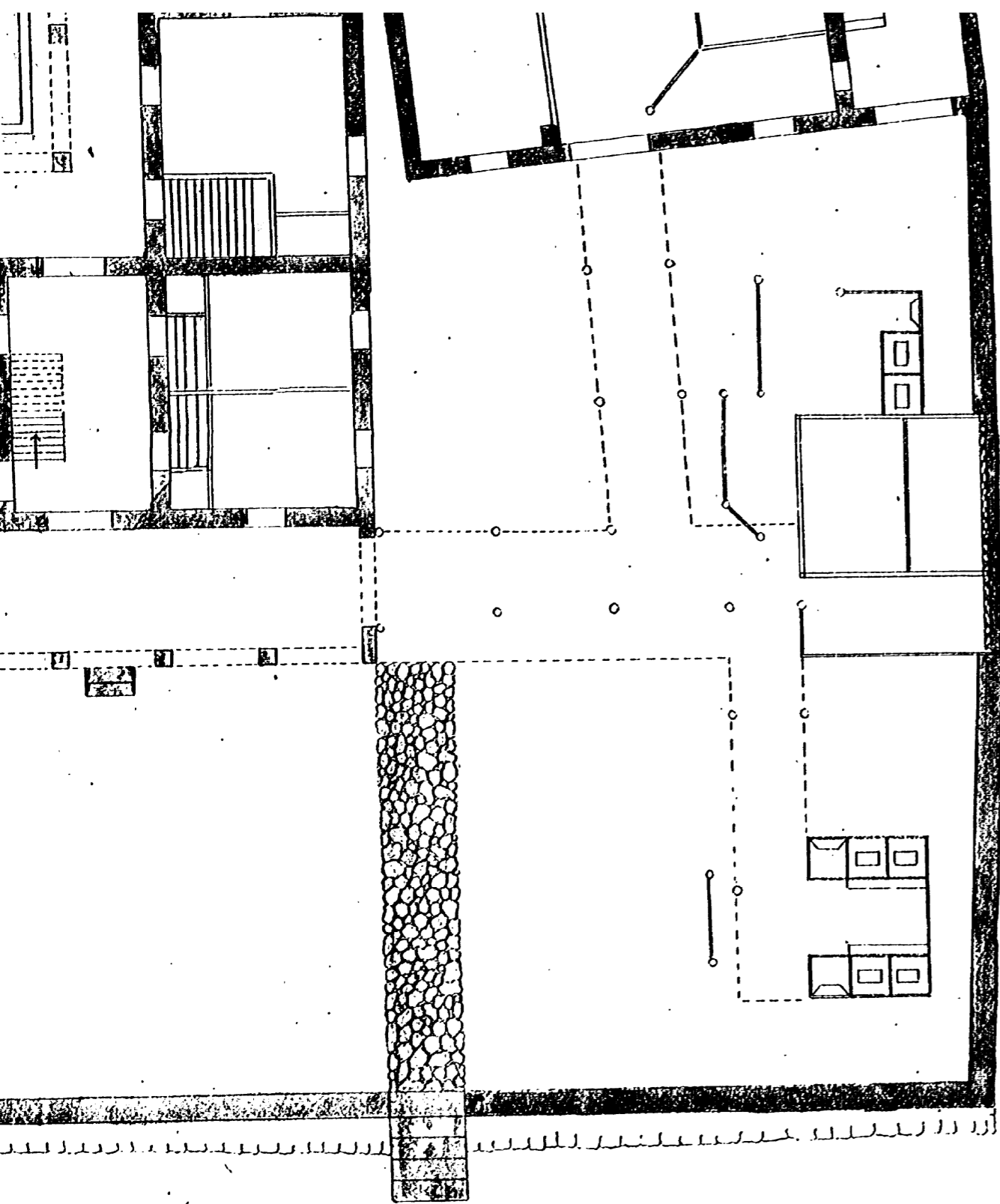
階下



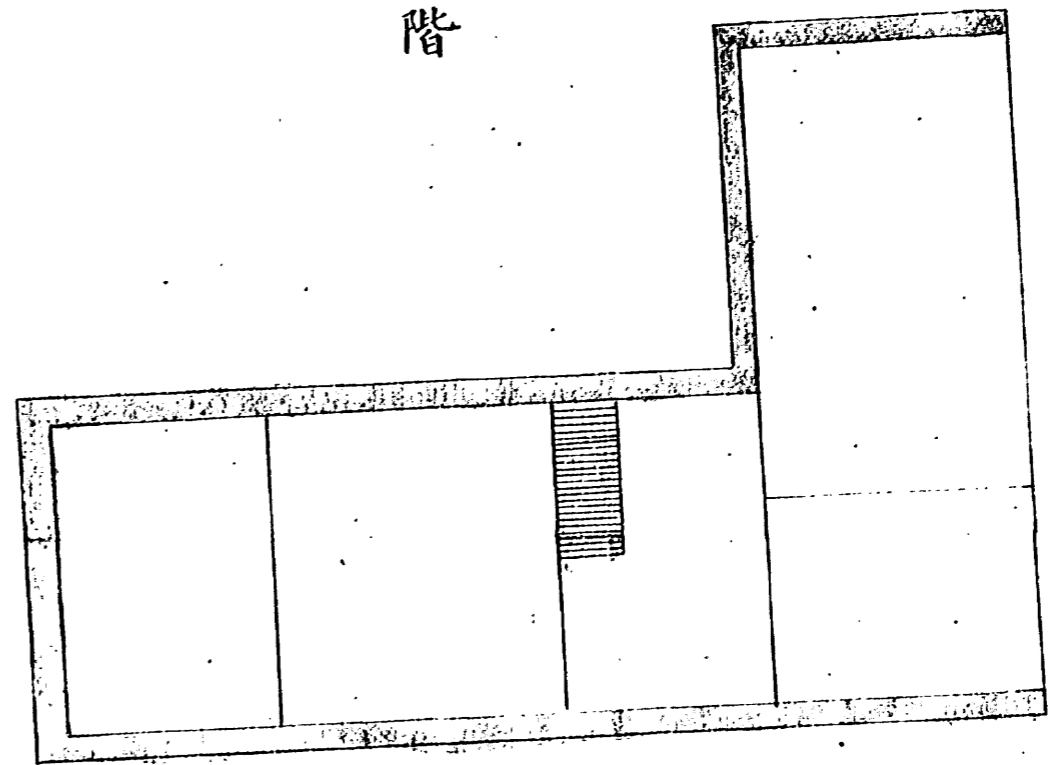
二階

100





階



乾隆三十八年西曆形建物圖

0082





臺灣總督府海軍幕僚

0083